

2019（令和元）年12月初旬に中国の武漢市で1例目が発症してから、わずか数ヶ月の間にパンデミックと言われる世界的流行となった『新型コロナウイルス感染症』。それ以来、私たちは“自分の命・大切な人の命”を守るための行動をそれぞれが考え、先の見えない不安感におびえながらも前を向いて歩んできました。そして長いトンネルの出口がようやく見えた今年の5月8日以降は、少しずつコロナ禍前の日常が戻ってきたことを喜びつつ、現在でも基本的な感染症対策として「手洗い・うがい」を続けています。園とともにご家庭で“なぜそうするのか”をお子様に丁寧伝え、一緒に実践していただいた保護者の皆様には心から感謝しております。今後、どのようなことが起きようとも、本園がこどもたちと常に確認している“自分の命は自分で守る”をみんなで継続してまいりましょう。

こうした中、先日開催された『音楽会』では、ここ数年人数制限等でご覧いただけなかった方々にも、こどもたちが一生懸命がんばる姿を観ていただくことができました。当日までのプロセスに関しては、今回も、ポータルサイト等でお知らせしましたが、こどもたちは、より良い音やリズムにしたいという気持ちで日々取り組んできた延長として、発表の時を迎えることができました。“みんなの思いは伝わったよ！”という心のこもった拍手を観客の皆様を送っていただいたことで、こどもたちは、伝わった喜びとともに“頑張るって素敵だな！”ということを実感したことでしょう。私たちはこれからも日常的に認めサインを送りながら、こどもたちが“やればできる！”の気持ちで更なる挑戦ができますよう、みんなで力を合わせてまいりたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。

いよいよ今年もあと僅かとなりました。年末・年始は何かと慌ただしい毎日ですが、日本古来の伝承行事に触れる機会でもあります。健康面に留意し、ご家族皆様で良い年をお迎えになりますようお願い申し上げます。

＜IBの視点からのこどもの自己評価 ～音楽会の取り組み～＞



「がんばりカード」で自己評価をする年中児



どんなところを頑張ったのか、先生が聞き取っています。



いいところ探しをする年長組



頑張りたいところを書いた「カード」で自己評価をする年長児

園庭に低学年用の砂場を設置しました。主にちゅうりっぷ組、たんぽぽ組、クロワッサンのお友だちが、寒さに負けず遊んでいます。



イメージを共有しながら遊ぶ満3歳児



2階での「サーキット遊び」で体を動かすことを楽しむクロワッサンのこどもたち

《編集後記》 5月以降、さまざまなことがコロナ禍前の状態に戻り“対面”での活動が復活していますが、今冬の個人面談ではズーム参加のご家庭も多く見られます。この数年を振り返り『大変な日々だった』と思う反面、新たな方法が見つかり、選択肢が広がったことを実感しています。また、騒動当初、マスク不足が切実な問題となっていた頃、“なければ作ればいいんですよね”といった前向きな姿勢で工夫を重ねていた人々のことを思い出します。ピンチの時こそチャンスだと思い、マイナスをプラスに変えていく体験を通して、私たちの生活は、ある意味豊かになったのでは？と感じる昨今です。この経験を活かし、これからも柔軟な発想で皆様と日々の生活を楽しみたいと思います。【子育て相談：北村 眞理子】

令和6年1月。本園は「国際バカロレア（IB）候補校2年目」に入り、IBワールドスクール認定への申請の準備に入ります。そこで、IBの基本的な考えを皆様と再確認（共有）するために、「IBの使命」「IBの学習者像」を記載いたしました。ご覧ください。

IBの使命

国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながらチャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人が持つ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることができる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯に渡って学び続けるよう働きかけています。

IBの学習者像

…「IBの使命」の理念が具体的にどのような形で結実すべきかをまとめたもの



○「学習者像」の「学習者」は、園児は勿論のこと、教師、保護者、IBコミュニティに属する全ての大人たちも含まれます。

○「IBの学習者像」は、園舎（生活環境）内の様々な場所で「見える化」されています。

○「IBの学習者像」は、IBの学びの全体の中で学ばれるものです。

★⑩の学習者像（太文字）の下には、本園のしぜい教育（共育）において、ポジティブな羅針盤の形成のために、こどもたちに共通言語として伝えている言葉を盛り込んでいます。